川上さん消火中焼死

社宅は火魔の好餌となる

春は花のシーズンであるが、また大火のシーズンでもある。皮肉なことに幸と不幸はいつもうらはらの関係にある。三日の大牟田東映の火災に引続き、熊本マーケットの大火など各地で連日火魔は狂い舞っている折から、六日には大牟田市馬場町で本所支部の組合員川上信義さん（32＝本社経理）宅から出火、消火につとめた川上さんは煙にまかれて焼死するという不幸が突発して仲間の涙をさそっている。油断は大敵、とくに集団社宅に居住する組合員の多いわれわれだけにいま一そうの火災予防が要望されている。

三日の東映の火事は午前九時四十分ごろ出火、出火場所は同館裏手のボイラー室附近といわれ、折からの強風にあおられて火勢は急速度に高まり、約一時間後の十時四十分ごろ鎮火の際には殆んど全焼に近い被害で、損害約二千万円といわれている。

つづいて四日午後七時五十分ごろ熊本市の国際マーケットも出火、二百三世帯をなめつくして犠牲者さえ出している。

コタツから出火

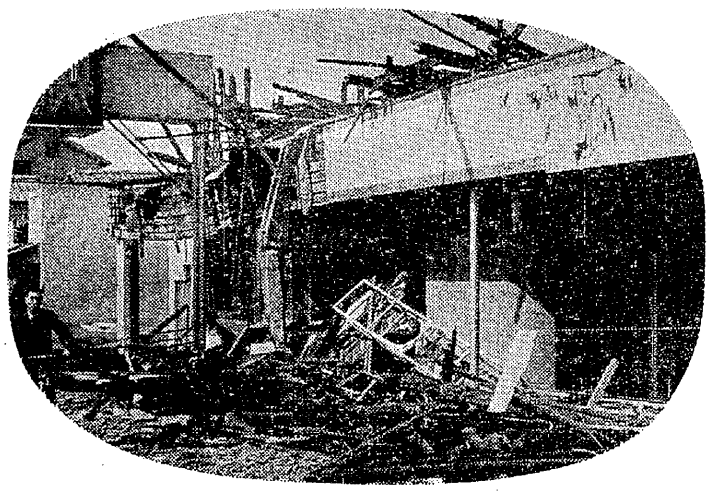
六日、午後十一時三分ごろ大牟田市馬場町の川上さん方から出火した。同家は木造カワラ葺二階建だが、約三十分後の十一時三十七分全焼鎮火したが、損害約六百万円と消防署では推測している。この日川上さんは夜十時ごろ帰宅、十一時に就寝するとき、火元は点検したといわれるが、切ゴタツのコタツが加熱して、板張りに焼え移つたものらしい。

コタツの焼えはじめたのに気付いた川上さんは、一たん避難したがふたたび現場に引返して消火につとめた。父親も消火につとめたが消し止められぬ状態になつたので避難することを促したが、川上さんは尚現場に残つて、出来るなら消し止めようと頑張つたが、三方がカベと鉄格子のため出口は一カ所しかない。おそらく煙が部屋に充満して煙にまかれ意識が失えたとき、天井のはりが頭上に落ちかかり打撲をうけたのが焼死の原因だろうと推測されている。

なお、消防署へ知らせがあつたのが出火後十二分後、直ちに消防車がかけつけている。

また家族は父母、妻、弟と一男一女の六人が残されている。

参考までに最近での火災原因区分をみると、こんろ、電気関係、煙草、煙突、放火、内燃機関、焚火かまど、こたつの順となつている。



映東のとあけ焼ノ惨無

またこの日午後十時二十分ごろ、三井山野鉱業所でも分析室から出火、木造バラック建の総務課室、人事課室など約百坪余を全焼、なおも燃つづきの所長室を半焼して三十分後に消えた。

家族皆が注意を

このように連日引続いて火災は続出しており、とくにここ当分乾燥した空気のために火災が後をたたないありさまである。

社宅に住むわれわれにとつては火災が何よりも怖い。一軒だけでなく、一棟が焼けることはあきらかなことで、近接する各棟に飛火して大火事になる恐れは十分にある。外出の際には必ず火種のない用心は、日ごろから十分心掛ける習慣をつけることは勿論、たとえ、老人や子供を留守番させているからと安心は大禁物である。

もしも火災になつたら直ぐ近所へ連絡して消防署への連絡に走ることを忘れてはならない。

とにかく日ごろからの用心が第一であり、火災シーズンを迎えたいま、もう一度、主婦も夫も家族みんなが、火事にたいする恐しさを十分認識して、家族会議のときも議題にするだけの周到さが望まれている。

敬　弔

火災による不慮の災禍で死亡された川上信義氏の霊に対し謹んで哀悼の意を表します

三池炭鉱労働組合
三池炭鉱主婦会

甘やかせば怠け者へ

手を描かぬ子が多過ぎる

（四）

耳をかかぬ子

或る子供の絵に耳が描いてなかつたので「耳が聞えないのですか」と先生に尋ねると「難聴です」ということであつた。そして、以前から保存してあつた絵を見せてもらつたら、全部耳が描いてなかつた。ハ十馬北校の横山先生は非常にこの方面の研究をしていられる人であるが、耳の悪い子は、家の上にポツンと小さな木を一つか二つばかり描く、と云つていられた。そう云えば自分も三、四年来右の耳が聞えが悪くなつてきたが画面の右上にポツンと小さな杉の木を二つ描いたり、三つ描いたりするようになつた。自分は家の上に描くのではないが、何かやはりそんな関係から右上に描くのかも知れない。

先日、福岡の玉屋に坂本繁二郎先生の馬のスケッチの個展を見に行つたが、一枚の絵の馬はたてがみがたれ下つて、眼がかくれて見えない顔を描いてあつた。それは昭和三十一年の作であつたが、その頃は先生が眼の手術をなさつたことが新聞に出ていたころだつたように思う。

忘けものの絵

人物を描いた場合に、手を描かない子は甘やかされて手を働かせないと云われる。全然手が無いのや、ちよつと豆粒くらいなのや、或は大体描いてはあるが、手先が無いとか、または胴から上を写生させると、必ず手先は画面の外になるように描く子などさまざまである。それで、私も自分の娘たちに注意してすこしづつ掃除とか、台所の手伝いとか、自分の夜具や衣服は自分で始末させるとか、幽い洗濯などするように習慣づけさしているのであるが、このごろ描いた人物画を見ると、画面の下の方で腕がもう描かれないというところから、ヒヂの関節になつて曲げて二の腕を胴の前に描いて手先までちやんと描いていたので、なるほどなアと思つた。現在は小学三年生である。それからこれは本で調べたのではないが、私の経験では、手を描かない子は映画を見るのが多いような気がする。つまり甘やかされるということは云いかえるとなまける生活、時間と金を浪費する生活に発展するのではなかろうか。適当な習慣形成を放任していると浪費癖の人間をつくる結果が生ずる。このごろの子供は手を描かない子が多すぎるようである。

（家永勝之亮＝教育研究会嘱託　土曜会研究所）

コント　坑内と口笛

石川君は歌声運動の先輩である同僚のH君と坑内の排気道で、コーラスの練習をしていた。

○　何の歌にしようか？
×　ん、ピクニックにしようか。
○　ん
空は澄み青空
口笛吹きつつ
声は岩盤に反響して、ハーモニーはきれいに聞こえる。

二人して口笛を吹いた。

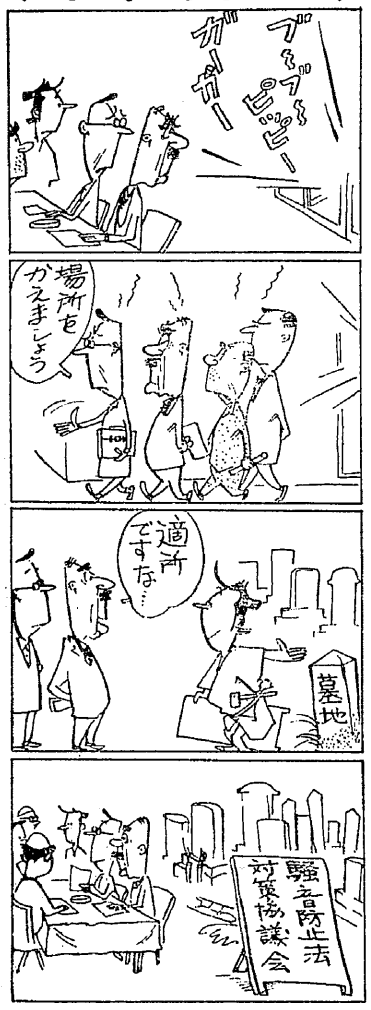
するとたまたま通りかかつた、M係員が注意した。

M　坑内で口笛を吹くと出来ん。
○　何故ですか。
M　なんでも魔が差すけなタイ。
○　坑内で口笛を吹いてはいけないという科学的根拠がどこにあるですか？
M　坑内で口笛を吹いたところが天井がばれて係員が三名も死んだけなタイ。
○　ホー、そりや、天井がばれる原因ナ、ほかにアツトルとでツしよ。口笛を吹いたから天井がばれたナンチーコター迷信デツショ。そげんか古か迷信ば持出テチ、旧来の慣習にとらわれとるケン、一チョン人間の進歩がナカですタイ。事故が起つて、人間が死ぬとは、なんも坑内ばかりに限つちやおらントですバイ。毎日の新聞バ、見テ見なはらんですか、交通事故ででんが大した人間の死んどりますバイ
M　……
コーラスの歌んの中ニヤ歌詞の間に口笛を入れるトコでンございますもんな。

この時、マイトの警戒来る。

（四山しらす）

長屋灯記　中村かめお



七周年記念　川柳会大会

三川鉱川柳会発足七周年の意義ある記念大会は、二月二十三日（日）三川鉱集会所でこの日を飾るにふさわしい、好天気にめぐまれ、同好者多数の出席を得て、乗題、席題に日ごろのウンチクをかたむけ、楽しい一日をすごした。

頃もよし、菖蒲寺の梅もほころぶ昨日今日、談笑はつきず去りがたいまま盛会に幕を閉じた。

大中　微風
オンボロ人生夢は大きい背負籠
中村　五醉
台風へオンボロ人生霧かす
外山あぎら
世論無視して解決を見失い
坂崎　香軍
解決へ労資スクラム解く日なり
横田　聖平
九分九厘から策戦が狂いかけ
上田てつを
九分九厘まではアイクの肚次第
益城しより太
破顔一笑もぬぬいた握手する
前川　吹雪
九分九厘縁談二人できめてくる
峰　柳水
主のない百合交番で良く匂い
牛島　信夫
逆も又真なり馬券の裏を買う
大阪間貞信
逆立ちをするにはあつらえむきの壁
平野　破笠
切羽から逆だ逆だと灯が慌て
福田　春窓
年令と逆にお化粧派手になり
村中　苦笑
ぶちまけてしまえばほつとする不満
猿渡十九三
のつぺりとしたその顔へ嫁げという
徳永　来男
対話から好縁となり酒となり
田畑　柳泉
幸福な家庭を対話見て帰り
森田　杜人
無理強いはせぬ縁談がまだ続き
古賀　和平
親切な車掌無理矢理押してくれ

映画

墨東地帯をゆるく流れる隅田川にかかる白す橋は、今日も朝の陽をうけて鈍い色の光を放ち、工場街へと急ぐ慌ただしい通勤者の群れを運んでいる。

以前勤めていた本屋が潰れて失職した友二は、就職運動の途次少女木村チエと親しくなる。

チエと会つてからの友二は、自分が今まで運命に甘えすぎていたことを悟り、今度は自分の手で幸福をつかみとろうと、以前よりも一層真剣に就職運動をする一方、彼女と毎日想い出の白す橋で逢うのを唯一の楽しみにしていた。

やがて友二は、中河鉄工所へ日給二百円の見習工として就職することができた。

やがてクリスマスがきた。

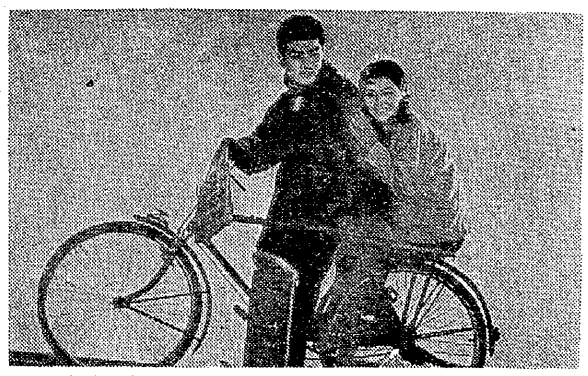
二人は、ジングルベルのなり響く浅草へと渡け、一軒の支那ソバ屋でラーメンをすすりながら互いに買い求めたマフラーとネツカチーフをプレゼントし合つた。こうして、ささやかながらも幸福に満ちた一夜を過した二人はいつしか白す橋へきたが、友二と毎日逢えないのを残念がるチエは、支店の一部分へ毎日お互いに手紙を入れて交通し合うことを提案した。

二人の逢いびきはこうして続けられた。

胸にしみる少女の愛情が若者の心の支えに…

〝二人だけの橋〟

友二は河村のすすめで、時計工場の試験を受け、数多くの受験者をしりぞけて、秀野という青年と二人だけ採用されることになつたが、その喜びも束の間身体検査で胸に黒点があるのを医師から指摘されあ然とした。



夕もやがたちこめる隙つぱにぼんやりとすわつている友二を心からなぐさめるチエには、もう一度休暇をもらつて医師の診断をうけるようにすすめるが、友二はしようぜんと再び鉄工所へもどる気がないことをチエに告げた。

悲しげに友二の様子をみていたチエは、あたしが友ちやんの病気をもらうと、いきなり友二に激しくかじりついた。つめたい風が二人をなぶるように通つていつた。

患者俳句会

荒尾市立病院で開く

二月二十五日午後六時より荒尾市立病院にて上原一歩、唯田万次（四山）両氏の退院を祝して送別句会をひらいた。百選の結果主な入選句左の通り。

屋形山茶の木点々ほかは枯れ　川野　広清
ひび割れし廃窯の壁に芽吹くつた　高木　穂咲
白す橋へきたが、友二と毎日逢えないのを残念がるチエは、支店の一部分へ毎日お互いに手紙を入れて交通し合うことを提案した。　上原　一歩
いさかいて去りゆく母の咳込みり　松本けい子
冬雨の音ぎきいしが眠りけり　唯田　万次
樺道療舎脱した歩をゆるめ　岸本美男太
真白く柵ぬり替へし卒業期　荒尾　梅城
小春日の小鳥あそばす掌に餌に　高木　穂咲
獄窓に幾年月や鳥帰る　上原　一歩
廃屋垣に垂れて一輪寒椿　唯田　万次
女生徒も混り植樹の群動く　唯田　万次
春の泥犬はたくみによけてゆく　福田　稔
起きかけの床にしばらく雪景色　福田　稔
麦の芽の光る朝の別れかな　岩谷　巷雨
肺患に寒鯉強く抵抗す　古部　勝義
早春の日溜り蝶ひ寄る患者　蓮尾　蒼馬
うららかや風にほどけし頬かむり　蓮尾　少々
揚雲雀空の青さに見失ふ　飛尾　少々
松葉杖ぽくぽく抜かり大ふぐり　当直の看護婦ゐ呼びさくら餅　岸本美男太
男の子産めと無理なお父さん　正木　瞳
介抱の母はいつでも起きている　清藤　桂人
介抱のやつれが朝の洗面器

今週の映画

○太陽館（12－18）ふたりだけの橋、花嫁三重奏
○セントラル（12－18）突撃（C・S）、B52爆撃隊
○大天地（12－18）勇み肌千両男（C・S）、夜縛の第二国道
○大牟田名画座（9－19）殿方御免遊ばせ、地獄特急
○グランド（12－21）悪徳（C・S）、手錠